

中期経営計画 「VISION75 (2006)」

富士写真フイルム株式会社
2006年4月27日

本資料における業績予想及び将来の予測等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は、様々な要因によりこれらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おき下さい。

中期経営計画 VISION75 (2006)

VISION75(2006)の重点課題

イメージング分野を中心とした抜本的な構造改革の仕上げと
2007年度からのV字回復

FPD材料・電子材料・インクジェット用インク等の「高機能材料」
「医療・ライフサイエンス」「グラフィックアーツ」「ドキュメント」
「光学デバイス」を重点事業分野とした成長戦略の推進

「富士フイルム先進研究所」を軸に、研究開発投資のさらなる重点化
による将来を担う新規事業・新規製品の早期創出

持株会社化を契機とした連結経営のさらなる強化と全体最適追求
による企業価値の増大

VISION75(2006) 業績目標

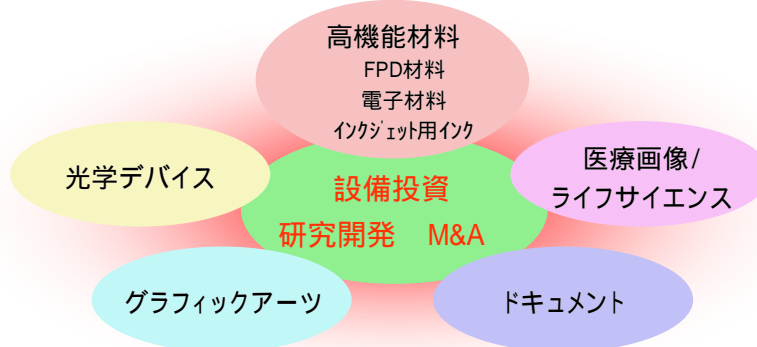
(単位:億円)

	2005年度 (実績)	2006年度 (予想)	2007年度 (計画)	2009年度 (計画)
売上高	26,674	27,400	28,500	31,500
営業利益 (営業利益率)	704 (2.6%)	800 (2.9%)	2,000 (7.0%)	2,500 (7.9%)
設備投資額	1,798	1,700	1,900	
減価償却費	2,254	2,200	2,100	
為替 :米ドル	113円	110円	110円	
:ユーロ	138円	135円	135円	
構造改革費用	860	790	累計1,650億円を計上	

ドキュメントソリューション部門のレンタル機器を除く。

成長事業分野への資源集中投入

- ◆ FPD材料など急成長事業分野における**タイミングを逃さない設備投資**
- ◆ ライフサイエンスなど新規事業分野を中心とした**積極的なM & A**
- ◆ 差別性の高い新規技術や新製品開発に向けた**高水準の研究開発投資**



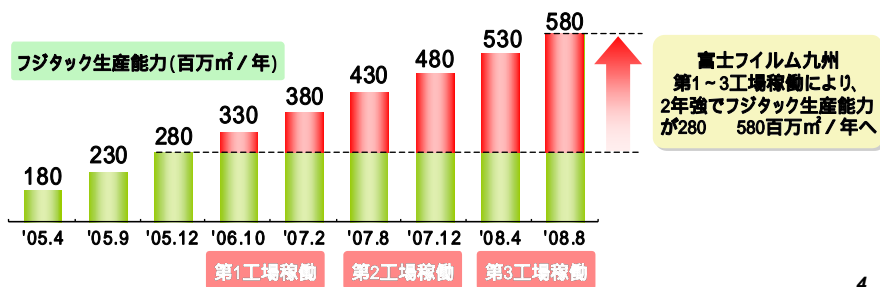
成長事業分野の拡大

「フラットパネルディスプレイ材料」

- ・富士フイルム九州(株)で計画を前倒してフジタック生産工場を建設



フジタック生産子会社 富士フイルム九州(株)



研究開発の強化

「富士フイルム先進研究所」

- ・全社横断的な先端研究、
- ・新規事業・新製品の基盤となるコア技術開発を推進



富士フイルム先進研究所 (4月オープン)

富士フイルム先進研究所における3つの研究所

先端コア技術研究所

フォトリソ、ナノテクノロジー、機能性材料などを中心とした将来のコア技術の構築

有機合成化学研究所

有機エレクトロニクス、メディカル/ライフサイエンス分野などにおける高機能性有機材料のR&D

ライフサイエンス研究所

蛋白質及び遺伝子の解析/診断システム、創薬/創薬支援、再生医療技術開発、ヘルスケアなどの医療、健康に関するコア技術および商品開発